南アルプス市 平成 25 年度

事務事業マネジメントシート (兼)予算編成資料・実施計画資料

			`	<u> </u>	义具科"天旭:	11 画 .	7 711	- 11	及口 H		-	, н	20 D	
****************			災害見舞	金支給事業			部局		健福祉部		単位番		والمال ا	5008
事務事業名				Г	」 実施計画事業		以明室 <u>。</u> 第担当		Ŀ総合相談 域福祉担き		課長: 担当者		<u>小</u> 外	千江 由香
基本政策	基	V	快適で心のかよい	いなら郏市べくり	□ 天旭可凹事末		科目	会計		勃			細目	
	本	7)′)	+11+ C	01	一般の制度によ	0: る恙	0.1	01	020 新設等維出) 09 寺管理事業
政策	画		社会福祉の充実			事業	医分	□県	の制度によ	る義	務的事業	□ 1	補助金交付	寸事業
施策	体系	27	地域福祉の充実						の制度によ 務化されて					事業
事業期間		年度の記	み □ 単年度繰り 複数年度 (図(開始年度 ~	年度) 年度)	法令	う根拠							
事業の内容・・・			年度事業は次年度し	以降3年間の計画に		事業	費の主な	よ内訳	. (25年	度	決算見	<u> </u>		
務市内で発生したり	く災で、全	全焼した	生生の住人(所有	者)に対し1万円の	見舞金を給付する	項	頁(細質 福祉費ネ	作) + n L	金額(千	円)		(細節	金	額(千円)
事 業						仕会1	温 仙賀作	用旫		20				
の														
<mark>概</mark> 要												4,		
									<u> </u>			計		20
1 現状把握(D (1)事務事業の目的		5												
① 活動	ソ C 1日15	<u> </u>				1	⑤ 活動	勆指標	(事務事業	の活	動量を表	す指標)数字は	記入しない
25年度活動実績	2件の	火災災害	害に対して見舞金を	支給。					名称 そで全焼し	y 60 s			単	位
	災宝器	生に広	じ見舞金を支給。			⇒	ア任	壬火以	で全焼し	た件	数		1	牛
26年度活動予定	火口九	(C//L\	し元舜立己入和。				ウ				••••••			
② 対象(この事務	事業は	誰、何を	を対象にしているの	のか) * 人や自 然	然資源等		6 対	象指標	(対象の大	きさき	表す指	票)数字	は記入し	ない
							アは	老小爷	名称 で全焼し		の世帯	掛		. 位 人
市に住所を有する人	で全焼し	た住宅	の住人(所有者)			→	イ	レノトグ		1030	/기타 III 토	3 90		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
**************************************	a sile e a a e	11166	18 - 1 - 1 1 1 4 4 1 1	- (- ()			ウュ	D 16 12						
③ 意図(この事務事	素により	り対象を	どのよっな状態にし	こていくのか、どの。	よっに変えるのか)	1	(/) 成	未 指령	(対象におけ 名称	る意図	図の達成度	を表す	指標)数字 単	は記入しない .位
少しでも再建に役立て	アナようじ	5				⇒	ア見	舞金の	支給を決		た件数			· <u> </u> 牛
少しても丹建に仅立	((86))					1							
④ 上位目的(どの。	ような結	果に結	さび付けるのか)				ウ: (8) F (立成集	上指標(結果	の達	成度を表	す指札	要)数字は	記入しなし
			<u> </u>		•••••	1			名称					位
相互扶助の精神の啓	発					⇒	ア							
						j	<u> </u>					•		
(2) 事業費・指標の	推移	単位	23年度	24年度	25年度		6年度		27年度		28年		最終	年度
_左	出金		23年度 (決算·実績)	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算見込·実績)		6年度 ·算·目標)		27年度 (計画·目標		28 ^左 (計画·			年度レコスト・目標
年 財 国庫支	出金出金	千円 千円												
年 財 国庫支間事源 地方	出金	千円 千円 千円												
年 事 非 ボー 東 ボー 東 ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー ボー	出金	千円 千円					·算·目標)	50						
年 間 ト 事 業 門 の 一 般 に り の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の の り の り の り の り	出金 出金 債 他 け 源 (A)	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 10 10	(決算·実績) 40 40	(決算見込·実績) 20 20		算・目標)	50		50 50		·目標)		
年 	出金 出金 債 他 が源 (A) 事人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 10 10 3	(決算·実績) 40 40 3	(決算見込·実績) 20 20 3		算•目標)	50 3		50 50 3		·目標)	(ト 一 タ)	
年 間 トー タル 国庫 東支	出金 出金 情 他 好源 (A) 事人数 時間	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 10 10	(決算·実績) 40 40	(決算見込·実績) 20 20			50		50 50		目標)	(ト 一 タ)	
年 事業費 本 事業費 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	出金 出金 情 他 好源 (A) 事人数 時間	千円 千円 千円 千円 千八 時間 千円	(決算·実績) 10 10 3 10 46 56	(決算·実績) 40 40 3 10 46	(決算見込·実績) 20 20 20 3 10 46		第・目標)	50 3 10 46 96		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(ト - タ)	レコスト・目標
年 事業費 大 上 本 事業費 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	出金 出金 情 他 財源 (A) 事人数 時間 (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 10 10 3 10 46	(決算·実績) 40 40 40 3 10 46	(決算見込·実績) 20 20 20 3 10 46		第・目標)	50 3 10 46		50 50 50 3 10 46		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年 事業費 大 本 事業費 大 本 本 本 本 表 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	出金 出金 債 他 が源 (A) 事人数 時間 (B)	千円 千円 千円 千円 千八 時間 千円	(決算·実績) 10 10 10 3 10 46 56	(決算·実績) 40 40 3 10 46 86	20 20 20 3 10 46 66		第・目標)	50 3 10 46 96		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年 事業費 「大学」 事業費 「大学」 「大学 「大学」 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学	出金 出金 (他 財源 (A) 事人数 時間 (B)	千円 千円 千円 千円 千八 時間 千円	(決算·実績) 10 10 3 10 46 56	(決算·実績) 40 40 3 10 46	20 20 20 3 10 46 66		第・目標)	50 3 10 46 96		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年 事業費 大 本 事業費 大 本 本 本 本 表 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	出金 出金 (他 財源 (A) 事人数 時間 (B)	于円 千円 千円 千円 十円 人 時間 千円 千円	(決算·実績) 10 10 10 3 10 46 56	(決算·実績) 40 40 3 10 46 86	20 20 20 3 10 46 66		第・目標)	50 3 10 46 96		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年間トータルコスト 事業費 本書業費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件	出金 出金 (他) (A) 事時間 (B) アイウアイウ	千円 千円 千円 千円 千円 千円 4円 千円 4 5 6 7 8 9 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 18 18 18	(決算·実績) 10 10 10 3 10 46 56	(決算·実績) 40 40 3 10 46 86	20 20 20 3 10 46 66		第・目標)	50 3 10 46 96		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年 事業費 「大学」 事業費 「大学」 「大学 「大学」 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学 「大学	出金 出金 (他) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	千円 千円 千円 千円 千円 千円 4円 千円 4 5 6 7 8 9 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 18 18 18	(決算·実績) 10 10 3 10 46 56 1.0	(決算·実績) 40 40 3 10 46 86 2.0	(決算見込·実績) 20 20 20 3 10 46 66 2.0		第・目標)	50 3 10 46 96		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年間トータルコスト 財源内訳 事業費 人件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大	出金 出金 (他) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	千円 千円 千円 千円 千円 千円 4円 千円 4 5 6 7 8 9 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 18 18 18	(決算·実績) 10 10 3 10 46 56 1.0	(決算·実績) 40 40 3 10 46 86 2.0	(決算見込·実績) 20 20 20 3 10 46 66 2.0		第・目標)	50 3 10 46 96		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年間トータルコスト 事業費 本書業費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件	出金 出金 (他) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	千円 千円 千円 千円 千円 千円 4円 千円 4 5 6 7 8 9 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 18 18 18	(決算·実績) 10 10 3 10 46 56 1.0	(決算·実績) 40 40 3 10 46 86 2.0	(決算見込·実績) 20 20 20 3 10 46 66 2.0		第・目標)	50 3 10 46 96		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年間トータルコスト 事業費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件費 大件	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 件 件	(決算·実績) 10 10 10 3 10 46 56 1.0 2.0 1.0	(決算·実績) 40 40 40 3 10 46 86 2.0 3.0	(決算見込·実績) 20 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0	(子	算・目標)	50 3 110 46 96 2.0		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年間トータルコスト 国庫支護 1	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 件 件	(決算·実績) 10 10 10 3 10 46 56 1.0 2.0	(決算·実績) 40 40 40 3 10 46 86 2.0 3.0	(決算見込·実績) 20 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0	(子	算・目標)	50 3 110 46 96 2.0		50 50 50 3 10 46 96		目標)	(\(\bullet - \beta \) \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	レコスト・目標 0
年 間トータルコスト	出金 出後 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十一 十二 十一 十二	(決算・実績) 10 10 10 3 10 46 56 1.0 2.0 対象者・社会状況 緯で開始されたの 寺または5年前と	(決算・実績) 40 40 3 10 46 86 2.0 3.0 2.0 3.0 おから旧町村	(決算見込・実績) 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0 R意見等 で実施していたもの	(予 (予 のを継 (予 (予	売している	50 3 10 46 46 96 2.2.0	(計画・目標	50 50 3 10 46 96 2.0	(計画	<u>目標)</u>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0
年間トータルコスト国東支 事業費 人件費大一度 業職 工工 工工 人件費本規 工工 人件費活動 対象 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 4 5 4 5 5 5 6 7 9 1 2 2 3 3 4 5 5 5 5 6 5 5 5 6 7 9 1 1 2 2 3 4 5 5 5 5 6 5 5 6 7 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9 1 9<	出金 出後 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円 千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 十千円 十千円	(決算・実績) 10 10 10 46 56 1.0 2.0 1.0 対象者・社会状況 緯で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は?	(決算・実績) 40 40 40 33 10 46 86 2.0 3.0 2.0 おから旧町村	(決算見込・実績) 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0 R意見等 で実施していたもの	(予 (予 のを継 (予 (予	売している	50 3 10 46 46 96 2.2.0	(計画・目標	50 50 3 10 46 96 2.0	(計画	<u>目標)</u>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0
年間トータルコスト事業費 事業費 人件費人件費 工工 工工 人件費本規延人へ 人件費 大のの? 事務 ・ 	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 十千円円 十千円円	(決算・実績) 10 10 10 46 56 1.0 2.0 1.0 対象者・社会状況 緯で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議	(決算・実績) 40 40 40 33 10 46 86 2.0 3.0 2.0 おから旧町村	(決算見込・実績) 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0 R意見等 で実施していたもの	(予 (予 のを継 (予 (予	・算・目標) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	50 3 10 46 46 96 2.2.0	(計画・目標	50 50 3 10 46 96 2.0	(計画	<u>目標)</u>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0
年間トータルコスト 事業費	出金 出金 (事時(B) 取りのは状る係のである。 取りのは状る係のである。 はい関係である。 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も	千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 十一件 人 件 体 は 別 に は けい は	(決算・実績) 10 10 10 46 56 1.0 2.0 1.0 対象者・社会状況 緯で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は?	(決算・実績) 40 40 40 33 10 46 86 2.0 3.0 2.0 おから旧町村	(決算見込・実績) 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0 R意見等 で実施していたもの	(予 (予 のを継 (予 (予	・算・目標) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	50 3 10 46 46 96 2.2.0	(計画・目標	50 50 3 10 46 96 2.0	(計画	<u>目標)</u>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0
年間トータルコスト事業費 事業費 人件費人件費 工工 工工 人件費本規延人へ 人件費 大のの? 事務 ・ 	出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 10 10 10 3 10 46 56 1.0 2.0 1.0 対象者・社会状況 緯で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議せられているか?	(決算・実績) 40 40 40 3 10 46 86 2.0 3.0 2.0 3.0 せいます。 はいます。 はいまするはいます。 はいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまする	(決算見込・実績) 20 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0 2.0 C大災は減少傾向に C大災は減少傾向に	(予 のを継 おり、、系 をより、、系	- 第・目標) 売している 大災件数件	50 3 10 46 96 2.0 	(計画・目標)しており、/ 資計が必要が	50 50 3 10 46 96 2.0	(計画 	日標)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0
年 間トータルコスト 国庫支護 事業費 不	出金 出金 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 10 10 10 3 10 46 56 1.0 2.0 1.0 対象者・社会状況 緯で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議せられているか?	(決算・実績) 40 40 40 3 10 46 86 2.0 3.0 2.0 3.0 せいます。 はいます。 はいまするはいます。 はいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまする	(決算見込・実績) 20 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0 2.0 R意見等 で実施していたもの の取扱等も進歩して 火災は減少傾向に	(予 のを継 おり、、系 をより、、系	- 第・目標) 売している 大災件数件	50 3 10 46 96 2.0 	(計画・目標)しており、/ 資計が必要が	50 50 3 10 46 96 2.0	(計画 	日標)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0
年 間 トータルコスト	出金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 10 10 10 3 10 46 56 1.0 2.0 1.0 対象者・社会状冴緯で開始されたの 寺または5年前と 今後の予測は? 事業対象者、議せられているか? 状況・経過	(決算・実績) 40 40 40 3 10 46 86 2.0 3.0 2.0 3.0 せいます。 はいます。 はいまするはいます。 はいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまするはいまする	(決算見込・実績) 20 20 20 3 10 46 66 2.0 6.0 2.0 2.0 C大災は減少傾向に C大災は減少傾向に	(予 のを継 おり、、系 をより、、系	- 第・目標) 売している 大災件数件	50 3 10 46 96 2.0 	(計画・目標)しており、/ 資計が必要が	50 50 3 10 46 96 2.0	(計画 	日標)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0

	事務事業名	災害見舞	金支給事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉総合相談	課		
2	評価(Check1)担当者に	よる事後評価(複変	数年度事業は途中	評価)						
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策 の施策に結びつき、貢献している 意図が上位目的に結びついてい		ていない(見直し余地/ ている ⇒【理由	がある) ⇒【理由↓】 ↓】	⇒ 3評価(Check2 建への足がかりになる。)・4今後の方	向性に反映			
的	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して わなければならないのか?	<mark>市が行</mark> ☑ 妥当であ	 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ✓ 妥当である ⇒【理由↓】 火災に遭われた方で、再建に少しでも役立ててもらう観点からも妥当であり、地域福祉の充実につながる。 							
生平	民間やNPO、市民協働に移行す は可能か?	_	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 □ 民間・NPO □ 市民協働							
西	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考え の事務事業を将来にわたり、維持 していくことは妥当か?目的や事 要性を見直す余地はあるか?	えて、こ	 ✓ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 適切である ⇒【理由↓】 平成25年度に確認した近隣町村の状況を踏まえ事業の維持継続を検討していく。 							
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向ることはできるか?できない場合原因でできないのか?	上させ	□ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 向上余地がない ⇒【理由↓】 成果というような性格の事業ではない。							
有品	⑤ 類似事業との統廃合・連携の	可能性 🔽 類似事務事	事業がある ⇒(類似す	る事務事業の名称を記	2入↓)					
功生泙 西	類似した目的を持つ事務事業がるか?類似事務事業がある場合 事務事業との統合や連携を図るできるか?	、その								
	⑥ 休止・廃止した時の影響及止・廃止の可能性この事務事業を休止・廃止した場響はあるか?また成果から考えて止・廃止することはできるか?	び休 □ 影響なし ▼ 影響あり 今まで給付を	▶響あり ⇒【理由と影響の内容↓】今まで給付を行っており、少しでも役立ててもらっていることが可能なため。の事業を廃止することで、市民に対し不公平感がでる可能							
効率	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)をできないか?(仕様や工法の適宜 住民の協力など)	□ 削減余地 上削減 事業自体の見	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :							
生評西	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できか?(事業のやり方の見直しによ 時間の削減や臨時職員対応や外 託による削減はできるか?)	ない	□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映☑ 削減余地がない ⇒【理由↓】最低限の職員で対応している。							
生平	託による削減はできるか?) ③ 受益機会・受益者負担の適正地 事務事業の内容が一部の受益者 ていないか?受益者負担を見直 はないか?公平公正か?	針に偏っ 全市民を対象	E <mark>である ⇒【理由</mark> としているため公平公	↓]	3評価(Check2)・4)所有者への給付であり			の給		
Щ	評価(Check2)担当課管		まましめは							
	1次評価者としての評価結果	1111111111111111111111111111111111111		(事務事業を実施した	結果を振り返り気づいた	こと、課題、今往	後の方向性等につ	いて)		
		見直し余地あり	後は災害見舞い金支		「金支給事業であるが現 ていく必要がある。また					
		見直し余地あり 見直し余地あり	討も必要である。							
	④ 公平性 □ 適切 ☑	見直し余地あり								
	今後の方向性(事務事業担									
_	<mark>) 今後の事務事業の方向性((</mark> 廃止(目的妥当性①、②、③の結			<mark>可</mark> 結果)□ 公平性改善(2		改革・改善に。	よる万何性			
V	株止(目的妥当性①、②、③の結 株止(目的妥当性①、②、③の結 必要性検討(目的妥当性①、②、)改革改善案について	課) □ 成果向]上(有効性④の結果)	□ 現状維持(全詞		礼制	コスト水準域 維持 増加			
泛铜	害見舞い金支給に関する基準を 定			ては、担当部署の検討			上の場合は記入不			
4)	改革改善を実現する上で解決	大りへざ誅趙とその無	件 		(5)	力 務爭美懓先度	医評価結果 平成25) 年		
					成:	果優先度評価	結果	11)		

コスト削減優先度評価結果